

学校で文法を教える先生のための講座です

品詞別 学校文法講座

全8巻 別巻1

監修 中山緑朗

飯田晴巳

編集 沖森卓也

木村義之

山本真吾

木村一



明治書院

近代的な学校教育が「学制」（明治五年）によってスタートした明治時代以降、教育制度が様々な改革を経ていく中で、各教科の指導内容も整備されていきました。「国語科教育の一環として位置づけられる『文法教育』もまた、その時代の先端にある『文法研究』を導入しつつ、教育現場に立つ先生方の肯定的な意見、否定的な意見にさらされながら、指導方法や指導内容を改善してきた歴史があります。とくにすでに明治時代に文法教育が暗誦中心でいいのか、実例をもとに帰納的な授業を展開すべきではないのか、という対立が生まれています。昭和六年（一九三二）に「中学校教授要目」改定に合わせて刊行された橋本進吉「中等文法」の普及は、その後第二次大戦後に国語教育界で展開された「体系文法」か「機能文法」か、という議論を生む要因にもなっています。国文法の授業が品詞名を指摘させる暗記中心だという今日的な課題、批判は古くから存在し、現在もなお、そうした否定的な見解が乗り越えられたとも思われません。

国語科教育に携わっている国語科担当の先生が、「学校文法」に関する講座を強く要望されているという話から今回の企画が立ち上がりました。その要望を分析すると次のようなことが考えられます。国語科の教員免許を取得するためには、「語学」と「文学」に関する単位を取得することが必要です。しかしながら、「語学」とりわけ「文法」は雲をつかむような理屈の積み重ねという印象が強く、文法についてののしつかりとした理解をすることなく、避けて通っているうちに教室で教える立場になつていってしまうと考えられます。そうした現場の先生方の要求にできるだけお応えしたいと考えました。

加えて、近年は「構造主義言語学」の影響を受けた文法学説をはじめとして、N・チョムスキーの「生成（変形）文法」から「認知言語学」・「語用論」などの新しい学説への展開もあり、外国人のための日本語教育からの発言も活発で、文法に関する議論が混沌としている側面があります。これに対して教科書の文法が硬直した内容で、日本語の抱える多くの課題に応えていないという批判も少なくありません。そこで今回私たちは、これまでの教科書における文法を総点検し、伝統的な文法研究に立脚した「学校文法」を新しい視点でとらえ直し、よりよい文法教育はどうあるべきかをささやかな形ではありますが、提言していきたいと考えています。

このような趣旨にご賛同くださった、日本語研究者として著名な先生方、中堅、若手として今後大いに期待されている先生方から力のかもった論文が寄せられました。また教育現場を知り尽くした小学校や中学校、高等学校の多くの先生方にも論文や付録（資料編）でご協力をいただきました。本講座に掲載されたそれぞれの論文や資料が、現在小学校、中学校、高等学校で教鞭をとられている先生方に新しい視点を提供し、さらに今後の文法教育における知恵袋の役割を果たしてくれることを、編者一同心より願っております。

本書の特色

1

多くの先生方からの強い要望にこたえて「**学校文法**」講座を作りました。

2

「**学校文法**」という今までになかったジャンルをはじめ**て体系化**しました。

●「学校文法」とは小・中・高等学校の文法教育のことです。

●教科書や受験参考書などで取り上げられる教材を中心に、意味・用法や解釈上の問題について用例を示すなど、具体的に解説しております。

●学校教育における口語文法・文語文法をわかりやすく解説しております。

3

各巻の付録では**主な教科書**を取り上げ、**指導の実際**に**応じた取り扱い**について示しています。

4

別巻の「**日本文法用語辞典**」は学校文法に関するおもな用語（体言、コソアド、用言、活用語、感動表現など）についての解説や、品詞別に文法上特に重要なはたらきをもつ語彙などあわせて約400項目を見出し語とした。

5

「**学校文法**」を教えるうえで、必要な諸学説にも言及しています。

第1巻 品詞総論 [300頁]

- 第1章 ◆ 学校文法の意義と目的…………… 中山緑朗 (作新学院大学教授)
- 第2章 ◆ 学校文法の歴史…………… 山室和也 (国士館大学文学部准教授)
- 第3章 ◆ 学校文法の単位…………… 宮田公治 (日本大学准教授)
- 第4章 ◆ 文の成分…………… 伊坂淳一 (千葉大学教育学部教授)
- 第5章 ◆ 主語・述語…………… 小池清治 (元宇都宮大学教授)
- 第6章 ◆ 修飾語・並立語・独立語・接続語…………… 村井宏栄 (福山女学院大学教授)
- 第7章 ◆ 品詞分類の方法と歴史…………… 服部隆 (上智大学文学部教授)
- 第8章 ◆ 学校文法における文・文の構造・種類…………… 森山卓郎 (早稲田大学教授)
- 第9章 ◆ 文の成立をめぐる…………… 森野崇 (二松学舎大学文学部教授)
- 第10章 ◆ 文法教育における文章・段落…………… 飯田晴巳 (青山学院大学講師)
- 付録1 ◆ 学校文法〈品詞分類〉〈品詞〉の取り扱い…………… 杉山俊一郎 (駒澤大学大学院)
- 付録2 ◆ 学校文法〈単語〉〈文節〉〈文の成分〉〈文〉の取り扱い…………… 杉山俊一郎
- 付録3 ◆ 学校文法〈文の成分〉〈主語〉〈述語〉〈修飾語〉〈並立語〉
〈独立語〉〈接続語〉の取り扱い…………… 杉山俊一郎
- 付録4 ◆ 学校文法〈文章〉〈段落〉の取り扱い…………… 飯田晴巳
- 付録5 ◆ 学校文法〈モダリティ(モード)〉の取り扱い…………… 中山緑朗

第2巻 名詞・代名詞 [280頁]

- 第1章 ◆ 学校文法における体言…………… 山口佳也 (十文字学園女子大学名誉教授)
- 第2章 ◆ 学校文法における名詞・代名詞…………… 木村義之 (慶應義塾大学教授)
- 第3章 ◆ 古典解釈と呼称…………… 阿久澤忠 (湘南短期大学教授)
- 第4章 ◆ 古典語における名詞…………… 武田比呂男 (十文字学園女子大学短期大学教授)
- 第5章 ◆ 古典解釈における体言…………… 植木朝子 (同志社大学教授)
- 第6章 ◆ 名詞の諸問題…………… 中川秀太 (十文字学園女子大学短期大学部非常勤講師)
- 第7章 ◆ 代名詞の諸問題…………… 市村太郎 (国立国語研究所プロジェクト研究員)
- 第8章 ◆ 名詞の史的変遷…………… 安部清哉 (学習院大学教授)
- 第9章 ◆ 代名詞の史的変遷…………… 寺田智美 (金沢学院大学准教授)
- 付録1 ◆ 学校文法〈名詞〉の取り扱い…………… 石出靖雄 (明治大学商学部准教授)
- 付録2 ◆ 学校文法〈代名詞〉の取り扱い…………… 石出靖雄
- 付録3 ◆ 学校文法〈指示語〉の取り扱い…………… 石出靖雄

第3巻 動詞・形容詞・形容動詞 [290頁]

- 第1章 ◆ 学校文法における活用と音便…………… 半藤英明 (熊本県立大学文学部教授)
- 第2章 ◆ 学校文法における活用形の用法…………… 永井悦子 (玉川大学准教授)
- 第3章 ◆ 学校文法における動詞…………… 藤原由紀子 (国際交流基金日本語試験センター嘱託研究員)
- 第4章 ◆ 学校文法における形容詞・形容動詞…………… 平山紫帆 (立教大学講師)

第5章 ◆ 古典解釈と動詞・形容詞・形容動詞…………… 沖森卓也（立教大学教授）

第6章 ◆ 動詞の諸問題…………… 阿久津智（拓殖大学外国語学部教授）

第7章 ◆ 複合動詞・補助動詞の諸問題…………… 徳本文（立教大学大学院）

第8章 ◆ 形容詞の諸問題…………… 世良時子（成蹊大学国際教育センター常勤講師）

第9章 ◆ 形容動詞の諸問題…………… 町田互（立教大学大学院）

第10章 ◆ 動詞・形容詞・形容動詞の史的変遷…………… 斎藤文俊（名古屋大学教授）

付録1 ◆ 学校文法〈（動詞）の取り扱い…………… 石出靖雄

付録2 ◆ 学校文法〈（複合動詞）（補助動詞）の取り扱い…………… 石出靖雄

付録3 ◆ 学校文法〈（形容詞）の取り扱い…………… 石出靖雄

付録4 ◆ 学校文法〈（形容動詞）の取り扱い…………… 石出靖雄

第4巻 副詞・連体詞・接続詞・感動詞 [300頁]

第1章 ◆ 学校文法における副詞・連体詞・接続詞・感動詞…………… 中山緑朗

第2章 ◆ 副詞の用法…………… 北澤尚（東京学芸大学教授）

第3章 ◆ 擬声語・擬音語・擬態語…………… 岡田薫（立教大学研究員）

第4章 ◆ 接頭語・接尾語…………… 石川創（駒澤女子大学講師）

第5章 ◆ 古典解釈と副詞・連体詞・接続詞・感動詞…………… 原卓志（鳴門教育大学教授）

第6章 ◆ 副詞の諸問題…………… 中川祐治（福島大学准教授）

第7章 ◆ 連体詞の諸問題…………… 刀田絵美子（奈良工業高等専門学校講師）

第8章 ◆ 接続詞・感動詞の諸問題…………… 磯貝淳一（新潟大学准教授）

第9章 ◆ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞の史的変遷…………… 木下哲生（防衛大学校准教授）

付録1 ◆ 学校文法〈（副詞）の取り扱い…………… 小倉智史（栃木県立馬頭高等学校教諭）

付録2 ◆ 学校文法〈（連体詞）の取り扱い…………… 小倉智史

付録3 ◆ 学校文法〈（接続詞）の取り扱い…………… 小倉智史

付録4 ◆ 学校文法〈（感動詞）の取り扱い…………… 小倉智史

付録5 ◆ 学校文法〈（擬声語・擬音語・擬態語）の取り扱い…………… 小倉智史

付録6 ◆ 学校文法〈（接頭語）（接尾語）の取り扱い…………… 小倉智史

第5巻 助詞 [250頁]

第1章 ◆ 学校文法における助詞…………… 浅野敏彦（元大阪成蹊短期大学教授）

第2章 ◆ 格助詞…………… 山田昌裕（恵泉女学園大学教授）

第3章 ◆ 係助詞・副助詞…………… 原 裕

第4章 ◆ 接続助詞…………… 矢島正浩（愛知教育大学教授）

第5章 ◆ 終助詞・間投助詞…………… 西田隆政（甲南女子大学文学部教授）

第6章 ◆ 古典解釈と助詞…………… 吉田光浩（大妻女子大学教授）

第7章 ◆ 古典解釈と構文論…………… 小田勝（岐阜聖徳学園大学教授）

第8章 ◆ 助詞の諸問題…………… 飯田晴巳

第9章 ◆ 助詞の史的変遷…………… 仁科明（早稲田大学准教授）

付録1 ◆ 学校文法〈（助詞）の取り扱い…………… 杉山俊一郎

第6巻 助動詞 [300頁]

第1章 ◆ 学校文法における助動詞…………… 田中雅和（兵庫教育大学教授）

第2章 ◆ 受身・可能・自発・使役尊敬の助動詞…………… 池田幸恵（長崎大学准教授）

第3章 ◆ 断定(指定)・打消の助動詞……………鈴木恵(新潟大学教授)

第4章 ◆ 推量・様態・伝聞の助動詞……………高山善行(福井大学教授)

第5章 ◆ 過去・完了の助動詞……………井島正博(東京大学大学院教授)

第6章 ◆ 願望・比況の助動詞……………齋藤平(皇學館大学教授)

第7章 ◆ 古典解釈と助動詞……………山本真吾(白百合女子大学教授)

第8章 ◆ 助動詞の諸問題……………矢田勉(大阪大学准教授)

第9章 ◆ 助動詞の史的変遷……………藤井俊博(同志社大学教授)

第10章 ◆ 近現代の助動詞……………足立さゆり(白百合女子大学教授)

付録1 ◆ 学校文法(助動詞)の取り扱い……………丸野浩一郎(三重県立朝明高等学校教諭)

第7巻 品詞論の周辺 [275頁]

第1章 ◆ 現代仮名遣いと歴史的仮名遣い……………鈴木功真(日本大学准教授)

第2章 ◆ 文法と音声……………常磐智子(白百合女子大学准教授)

第3章 ◆ 文法と表現……………水藤新子(中央学院大学准教授)

第4章 ◆ 古典解釈と語義変化……………斎藤菜穂子(國學院大學講師)

第5章 ◆ 学校文法における敬語……………坂本恵(東京外国語大学教授)

第6章 ◆ 品詞と敬語……………坂詰力治(武蔵野学院大学教授)

第7章 ◆ 古典解釈と敬語……………古田正幸(東洋大学講師)

第8章 ◆ 敬語の諸問題……………木村一(東洋大学准教授)

第9章 ◆ 敬語の史的変遷……………森山由紀子(同志社女子大学教授)

付録1 ◆ 学校文法(敬語)の取り扱い……………河上美沙枝(栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校教諭)

付録2 ◆ 学校文法(仮名遣い)の取り扱い……………増田瑠美子(小山市立間々田小学校教諭)

第8巻 古典解釈のための文法 [270頁]

第1章 ◆ 古典解釈のための文法指導……………飯田晴巳

第2章 ◆ 古典解釈と文法―上代語……………沖森卓也

第3章 ◆ 古典解釈と文法―中古語……………室城秀之(白百合女子大学教授)

第4章 ◆ 古典解釈と文法―中世語……………中山緑朗

第5章 ◆ 古典解釈と文法―近世語……………木村義之

第6章 ◆ 古典解釈と文法―近代語……………木村一

第7章 ◆ 和歌の文法と修辭……………小林大輔(早稲田大学本庄高等学院教諭)

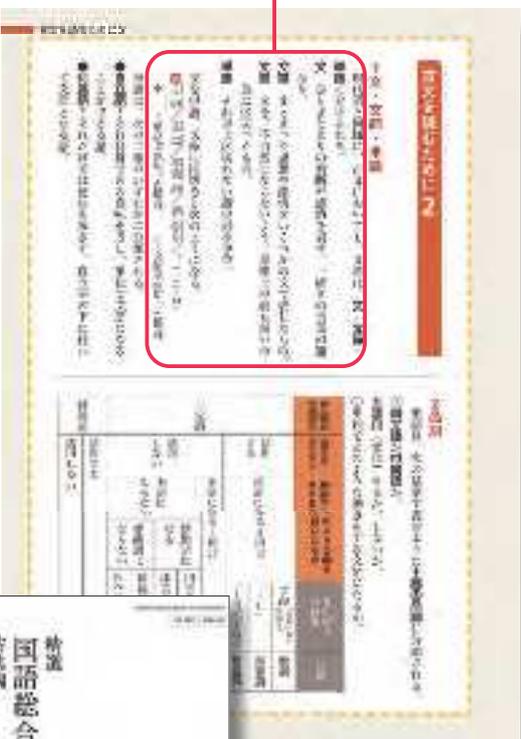
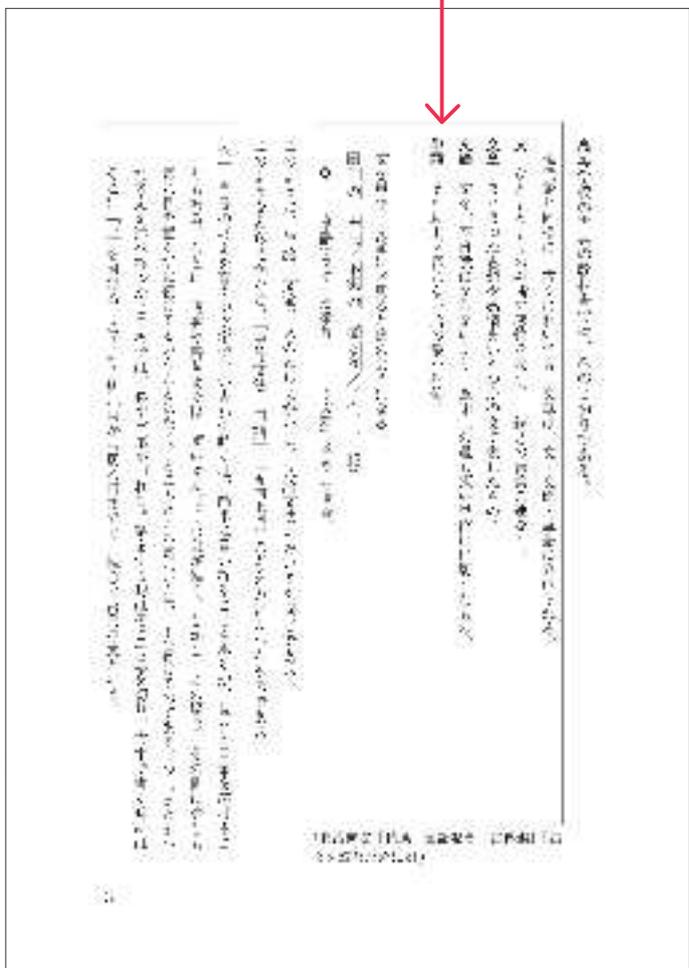
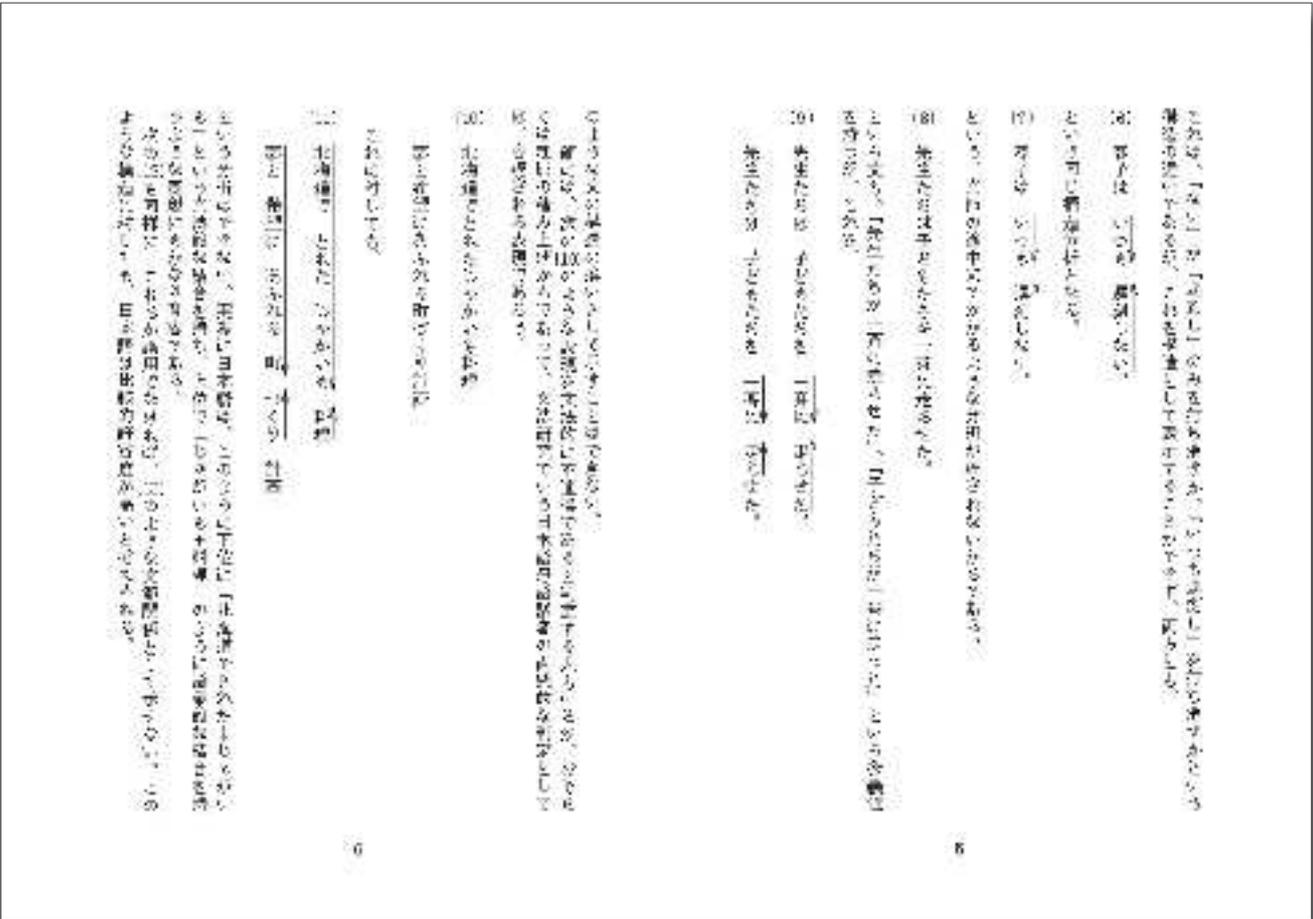
第8章 ◆ 漢文訓読の語法……………山本真吾

付録1 ◆ 学校文法(古典解釈)の取り扱い……………飯田晴巳

付録2 ◆ 学校文法(和歌)の取り扱い……………飯田晴巳

付録3 ◆ 学校文法(漢文訓読)の取り扱い……………山本真吾

別巻 日本文法用語辞典 [300頁]



■明治書院「精選国語総合 (古典編)」での取り扱い



平成25年11月10日 第1回配本

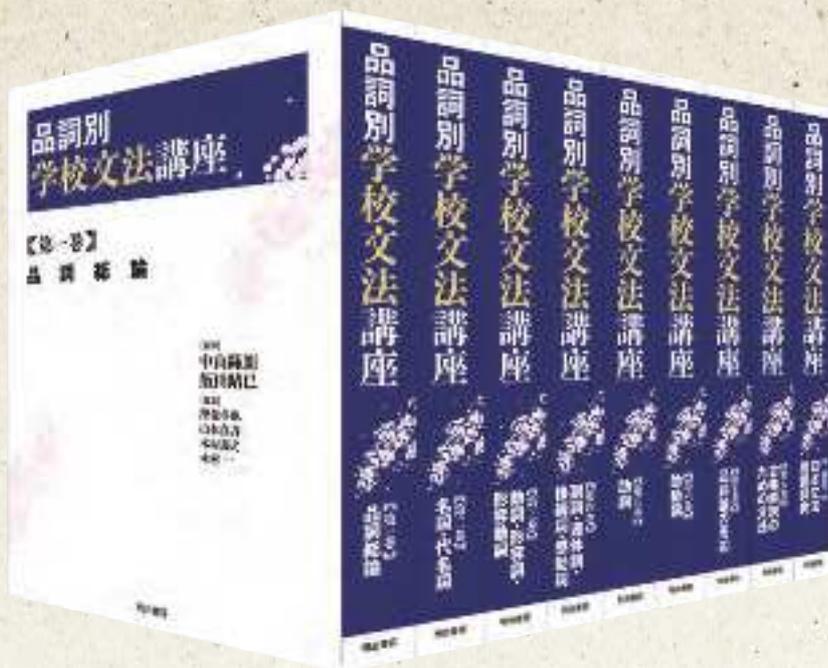
品詞別 学校文法講座

全8巻 別巻1

本体価格 各**3,800**円(税別)

A5判 上製力バー装 各巻頁数平均300頁

[監修] 中山緑朗 飯田晴巳



第1回配本	平成25年11月10日
第2回配本	平成26年2月10日
第3回配本	平成26年5月10日
第4回配本	平成26年7月10日
第5回配本	平成26年10月10日
第6回配本	平成27年1月10日
第7回配本	平成27年4月10日
第8回配本	平成27年6月10日
別巻配本	平成27年7月10日

書名	価格	注文数	
品詞別学校文法講座 第1巻 品詞総論	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第2巻 名詞・代名詞	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第3巻 動詞・形容詞・形容動詞	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第4巻 副詞・連体詞・接続詞・感動詞	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第5巻 助詞	3,800円(税別)	冊	合計冊数
品詞別学校文法講座 第6巻 助動詞	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第7巻 品詞論の周辺	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 第8巻 古典解釈のための文法	3,800円(税別)	冊	
品詞別学校文法講座 別巻 日本文法用語辞典	3,800円(税別)	冊	冊
全巻セット(全9冊)	34,200円(税別)		セット

お名前	電話番号
ご住所 〒	店印

FAX 03-5292-6183

株式会社 明治書院 〒169-0072 東京都新宿区大久保1-1-7 TEL 03-5292-0172